

人口と世帯数

55年11月1日現在

総人口 13,883人

男 6,895人

女 6,988人

世帯数 3,183戸

広報



たまぐり

第244号

昭和55年11月15日

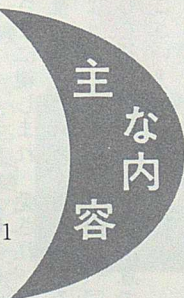
(毎月1回発行)



晩 秋

写真提供 高野整一郎氏

町制25周年を迎えて.....	2
町制25周年・新庁舎落成記念式典.....	3・4
第19回産業文化祭を盛大に開催.....	4~7
優勝は根古屋チーム・西谷チームに.....	8
努力の成果がずらり(小中学生理科展).....	9
おしらせ.....	10・11
くらしの豆知識・出産・死亡.....	12



'80/11月号

町制二十五周年を迎えて



町長 坂本 常蔵

まのご指導、ご支援、ご協力のたまものと深く感謝いたします。

さる十一月二日、菊花香るさわやかな吉日をばくし、町勢の振興と新庁舎建設等に寄与された功労者の皆さま方および町内有志各位多数のご臨席を賜り、町制二十五周年並びに新庁舎落成記念式典を挙行できましたことは、私のこの上ない喜びでございます。

わが玉造町は、昭和三十年一月一日に旧玉川村、手賀村、玉造町、現原村、立花村の一町四カ村が合併し、新しい玉造町が誕生しました。歲月の流れは早いもので満二十五周年を迎えたわけでございますが、この間、当町が順調な発展を遂げてまいりましたことは町民の皆さま

まのご指導、ご支援、ご協力のたまものと深く感謝いたします。

きない施設の整備につとめてまいりました。

産業の振興では、優良農地を作り効率的な機械化利用による生産性の向上と安定供給体制を確立するため、ほ場整備事業を進めてまいりました。さらに農村総合整備事業により農道、集落排水施設の整備、農村生活環境の整備を、農業所得の向上を計るため自立農家の育成、町内農業協同組合の広域の一本化を期すため農協合併の実現など、努力してまいりました。

商工業においては、商工会館の建設、金融あつせん及び保証料補給による資金供給の円滑化等を推進し、町内への企業誘致及び農村地域工業導入促進法に基づく上山工業団地の誘致促進を行ってまいりました。

一方、福祉行政では、老人いこいの家建設を始めとし老

人幼児等の福祉の充実、母子健康センター建設による母子保健の推進など、住みよい町づくりを目ざしてまいりました。

教育に関しましては、中学校の統合及び小中学校校舎の防音改築、屋内運動場、水泳プールの建設、運動場の整備、幼稚園の建設、さらに玉造工業高等学校の誘致を進め、社会教育の場としての中央公民館と学習センターの建設を行ってまいりました。青少年健全育成対策としては、昨年四月に町民会議を設立し、積極的に推進しているところです。

以上申し述べましたように町民の皆さまの要望にこたえつつ行政全般にわたって、一つの懸案を解決してまいりました。学校施設等をはじめ公共施設の整備はほぼ充実し、おむね県内町村の水準を上まわるレベルに達したものと自負しております。

こうした公共施設整備のなかで、昭和三十三年に建設された役場旧庁舎は、機構の改革や行政需要の増大などにより狭くなり、課の分散等により町民の皆さまに大変ご不便

をおかけしておりました。事務処理におきましても非能率的で、建物自体の老朽化もはなはだしくなってきたため、町議会と町民の皆さまのご理解により、昨年度から二か年計画で新庁舎の建設にとりかかり無事完成をみることでございました。ここに名実ともに玉造町のシンボルとなり、町政の中核としての使命を果たし得るものと確信いたします。

また、この新庁舎が町民の皆さまに親しまれ、愛され、福祉の向上に大きく貢献できるよう、これを契機に職員一同心を新たに努力する決意でございます。

さて、八十年代は「地方の時代」といわれております。めまぐるしく変化する社会情勢のなか、町民の皆さまのご要望にそって町勢の将来をみつめ、明るいうるおいのある郷土をつくるため全力を傾けて町行政に邁進する覚悟でございますので、なお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。最後に町民の皆さまの自愛とご多幸をお祈りして町制二十五周年記念のごあいさつといたします。

町制25周年・新庁舎落成記念式典

功労者ら二六一人を表彰

ことは、わたしたちのまち「玉造町」が誕生してから二十五周年目にあたります。とき同じく役場新庁舎も完成し、「町制二十五周年」と「新庁舎落成」を祝い、その記念式典が十一月二日の産業文化祭初日に玉造小学校体育館で盛大に行われました。式典では、町発展に寄与された功労者ら二百六十一人が表彰され、出席者約五百人からさかんな拍手が送られました。

竹内県知

事も列席

当日は、竹内藤男県知事を始め、岩上二郎参議院議員、横田修平、額賀福志郎両県議員、県町村会副会長の河内村長ら来賓多数が列席しました。受賞者も含めて式場内は五百人の出席者でうまり、町制二十五周年と新庁舎落成を祝いました。

さらに郷土づくりに邁進を

式典は、小沼収入役の開式のことばではじまり、つづいて式辞にたった町長は、「昭和三十年一月一日に一町四カ



式辞を読む町長

村が合併して、新しい玉造町を迎え、当町が順調な発展をとげたのは、国県をはじめ町民の皆さんのご指導、ご協力のたまものと感謝いたします。今後とも地域住民の要望にそって町勢の将来をみつめ皆さんと共に郷土づくりに邁進する覚悟です」と述べました。

次に竿台助役が新庁舎建設の工事経過報告を行い、特別表彰並びに地方自治、産業、教育などの各部門で功労のあった二百六十一人に対する表彰と記念品贈呈が行われました。

「県勢発展にも大きく貢献」

表彰後来賓祝辞にうつりそのトップをきいてあいさつした竹内県知事から次のような祝辞がありました。

「玉造町は、農業の発展はもとより工業団地の造成、町道の整備、上水道の促進を図られるなど町勢の発展には目覚しいものがあり、県勢発展にも大きく貢献されている。このたび新庁舎が立派に完成され、心からお喜び申しあげます。役場は町民各位の福祉をまねく行政の窓口で、居は心を映す」とかいわれ、執務上も快適となり必ず能率増進に役立つものと思う。どうかこの意義ある記念式典を契機に、玉造町がさらに次の新しい時代へ大きく飛躍されることを切望します。」

つぎに岩上二郎参議院議員は、県知事当時をふりかえって、「一緒に仕事をしてくれて、私が特に印象深いのは、坂本町長が田園都市センターを建設したこと、それが私の心



式典に列席された来賓者

に残っている業績の一つです。みんなと一緒にものをつくるということはきわめて困難なこと、これをなしたということが現在の玉造町発展の原動力になっているのだらうと思います。」と、エピソードを述べられました。

来賓祝辞のあと、参列者を代表して大場正維町議会議長のあいさつと、桂建築設計事務所長及び加固進農業委員長を受賞者代表謝辞が行われ、正午すぎ式典を終了しました。なお、表彰された方々は次のページの皆さんです。

表彰者

(敬称略)

○庁舎建設
桂建築設計事務所
大林山形共同企業体

○特別表彰
大和田熊蔵、常陽銀行、吉田精工株式会社、箱根由雄、大崎庄司、石田三千雄、並木正忠、飯島正、小沼渉

○地方自治
大場正維、小野口清、貝塚国男、幸台光雄、鈴木晃、滝崎昇、橋川幾次郎、川崎景治、野原信、井川峰次、八木豊、木村茂、鈴木一二、根崎正夫、飯島豊雄、飯島勝治、飯島具之、村松重信、平間豊蔵、井川正巳、野原淳一郎、高野昭夫、高須三左男、中野勇、根崎貞雄、小島孝次、井野孝夫、関野嘉正、山口恵美子、曾根康充、荒木田盛、栗原弥寿夫、芳徳、杉山農夫雄、吉田宗雄

笹目孟、風間寧規、加國進、羽生善胤、小島信男、金井新次郎、磯山忠相、羽成忠男、横田実、長峰貞之助、須貝藤兵衛、菅谷真、久米久良、羽生又工門、真家光元、山中倭男、堀田文吾、松本伝四郎、須貝亨、高須敬司、佐山淳、橋本為次、伊藤春雄、岩本誠、堀田丙午男、小松崎政一、郡司忠夫、飯田脩、田沢英、若泉富蔵、青木幸夫、高栖舜雄、斎藤義嗣、関口実、飯島嘉雄、井野嘉四郎、武井正衛、塙美、山野義清、檜山三郎、小谷妙春、渡辺一男、郡司貢、大曾根喜好、高野うめ、野原易、鈴木敏夫、根崎松之助、郡司正明、幡谷吉治、関口文太郎、堀田秀男、内藤新工門、笹目石井宏夫、鈴木忠芳、野原芳

小沼嘉子、金塚憲吉、宮本純、根崎幸雄、甲谷亘、西谷徳次、堤武雄、船串正、鈴木馨、田宮昭光、若泉利夫、福田善衛門、小沼昭男、石田栄次郎、大和田甲、飯島駿三、笠原秀司、萩原健吉、松金照夫、額賀直行、照山彊、関野吉房、福田義、高塚保、坂本行、森作功、手賀三郎、野島清司、荒井千代、飯島のぶ子、高野博、稲葉ヤイ、奥村水男、小谷英夫、小沢貞治、広原正行、石毛正子、郡司セキ

○産業
石川実、安部載徳、芳野寅一、関口憲一、野原信、宮本暢、野原平五郎、西谷孫一、関野博、関口丑之助、甲谷邦義、原松男、出沼忠義、鈴木吳、川崎景治

○消防・交通
大和田徳男、鈴木新吾、中沢喜一、仲田清一、吉藤栄二、小貴実、熱田信一郎、松本操、石井宏夫、鈴木忠芳、野原芳

一、山口忠一、長島子年、河島勲、高塚栄、額賀清孝、関口丈夫、弓削市郎、山崎康、笹目吉久

○社会福祉
笹目吉男、金田志江、関口隆、井野場元雄、沼田詮章、鈴木篤然、小野口トク、宮本武雄、飯島とみ江、松沢茂、出沼忠義、久米久良、小倉マツ、茂木いの、原みつ、皆藤美枝、茂木彦宗、小沢徳恭、松本金吾、原田誠、富田仁衛、今泉良信、鈴木綾子、野原きよ、大崎美代、島田福寿、山口ウラ、西谷久喜、小津栄、久米正良、井川芳男、石田誠也、矢口ヨシ

○社会教育
鬼沢七郎、森作三蔵、宮本武雄、宮本俊雄、代々木栄久、堤一郎、高野富枝、磯山保、桜井勘重、千ヶ崎武男、茂木昌、塙幸朋、菅谷敏夫、菅谷秀一、大曾根喜広、飯島仁之、藤川良治、栗原博、金沢三千

○建設
吉田武男、大和田長治

○庁舎整備協力
玉造町ロータリークラブ、堀田正義、日本舗道株式会社、水戸出張所長、日本碎石株式会社、石岡工場長、清宮電気株式会社、中沢種苗園、大林山形共同企業体、桂建築設計事務所、吉田精工株式会社、八進造園、鹿島化成株式会社

高須宏道(川向)、将棋の部長飯島勝治(西蓮寺)

○商工会長賞 囲碁A1優勝者鈴木健次郎(浜)、将棋B1優勝者千ヶ崎慎也(八木蒔)

○飯田喜市賞 囲碁の部長羽成徳工門(浜)、最多出場者中野勇(羽生)

第19回産業文化祭

町と商工会共催による第19回産業文化祭が11月2日から3日間玉造小学校をはじめ、各会場で開催されました。ことは、町制25周年・新庁舎落成記念式典が行われるなど例年になく盛大な産業文化祭となりました。それぞれの催しもの各会場ごとにお楽しみください。

(中)(央)(公)(民)(館)

囲碁将棋大会
七十八人が参加し、結果は次のとおりです。

○町長賞 将棋A1優勝者海東敏夫(羽生)、将棋B2優勝者

(玉)(造)(中)(学)(校)

町民運動会
会場には大勢の観客が詰めかけ学区対抗で行われた各競技にさかんな拍手を送っていました。結果は、優勝が玉造学区、準優勝が手賀学区、三位は現原学区でした。また、競技のあい間に「牛乳祭」が行われ、町長を先頭に牛乳娘と酪農組合の婦人二十人がくり出し、二百本の牛乳がくばられました。

(玉)(造)(小)(学)(校)

優秀商品展示即売会・農産物展示即売会
優秀商品展示即売会で人気のマトは「買上げの方にヒョコ一匹さしあげます」さん。ま両手つかみどり三百円。それに農協コーナーの「ポップライス」肉の安売りなど。一方農村青少年クラブによる農産物展示即売会では「焼イモ」が人気で、とくに主婦に人気があったのは「ナメコ」「ゴボウ」「ヤマイモ」だったとか。

カラオケのど自慢大会

町制25周年祝い盛大に開催

11月2・3・4の3日間

○川崎孝也賞 中学生の部優勝者内藤謙二(三年)

農業後継者の集い

三日には『プロジェクト実績発表会』が行われ、「切みつばを取りまく情勢」「千ヶ崎美智子」「現在の農村に対する問題提起(田中誠一)」「嫁っこはいねが!」「八木照男、橋本栄一」「我が家のエシヤロット栽培(仲田幸一)」「農業市場の実態と自分の農業」(根本泰輔)の五発表がありました。審査の結果、根本泰輔さん(根古屋)が最優秀賞に選ばれました。

俚謡大会

俚謡作家大会で、総互選の結果次の八章が入選し、当日玉造小学校体育館で開催された郷土芸能大会で邑郷先生社中により、民謡の節で糸入発表されました(席題カラオケ)

へ孫にせがまれカラオケ買って一家だんらん嫁姑(天位)

常山

へ嫁のカラオケ音頭につけて鬼の姑も歌い出す(地位)

正花

へ祝うカラオケ栄える町に響く白亜の新庁舎(人位)秋扇

へ歌い出しから合わないままいつでもカラオケ追いかける

あゆみ展

(役)(場)

町制二十五周年と新庁舎落成を記念して、役場各課・室の事業二十五年のあゆみがパネル展示されました。新庁舎内の見学もかねて、文化祭開催中に延一千六百人の皆さんがあゆみ展を訪れました。

消費生活展
水や電気などの省エネルギーに関するパネルが展示される。今回は、現在問題になっている霞ヶ浦の汚染について一般の方々に関心をもってもらいたい。このほか「菊花展」が車庫で開かれました。

野球大会

さる九月七日からはじまった町長杯争奪社会人野球大会には二十五チームが参加、日曜日ごとに試合が行われ、十一月二日に準決勝と決勝戦が開かれました。パレード(日本舗道)、スパークス(手賀)、浜ムーンライト(浜)、サンシズ(下宿ほか)の四チームが出場、トーナメント戦が行われ、パレードが優勝しました。

このほか、「小中音楽会」「詩吟大会」が行われました。

産業文化祭の催しものの最後をかざるカラオケのど自慢大会は、四日の午後五時から玉造小学校体育館で行われ、会場いっぱい人でうまりました。

当日の出場者は八十五人で審査の結果次の方々が入賞。

○優秀賞 遠藤国之、栗又隆一、高野利次、樽井十三男、塙仁

○ユーモア賞 高崎年雄、須貝一男、斎藤繁男

○努力賞 寺崎透、金沢静江、野原保

○敢闘賞 仲居栄子、栗山政雄、白鳥和代

このほか、「町制二十五周年新庁舎落成記念式典」「郷土芸能大会」が行われました。



▲ 花火大会



◀ 茶会



▲ 巡回山車・おはやし大会



▶ 町民運動会

▼ 郷土芸能大会



▶ 自衛隊音楽パレード



◀ 小中学校音楽会



◀ カラオケのど自慢大会



◀ 菊花展

▼ 美術展



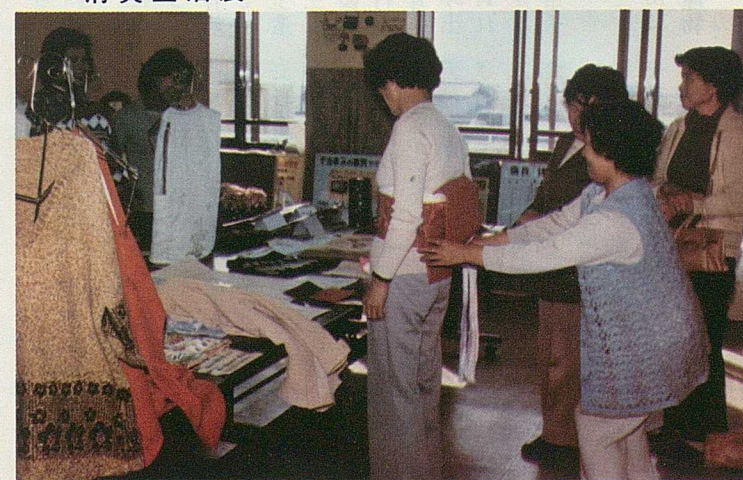
◀ 詩吟大会



▼ 農業後継者の集い



▼ 消費生活展



スナップ集



▲ 展示即売会会場



◀ 俚謡大会入選作発表会



▶ あゆみ展

▼ 囲碁将棋大会



町消防ポンプ操法競技大会

優勝は根古屋チーム・西谷チームに

町消防団恒例の秋季点検並びにポンプ操法競技大会が、十月九日に玉造中学校グラウンドで行われました。競技の結果、自動車ポンプの部は根古屋チーム（第一分団第二部）、小型動力ポンプの部は西谷チーム（第一分団第三部）が、それぞれ優勝しました。

ことしのポンプ操法競技大会は、上天気めぐまれ絶好のコンディションのなかで行われました。どのチームも充分実力を発揮し、甲乙つけがたい操法がくりひろげられました。



真剣に操法を行う選手

操法競技は午前九時に始まりましたが、開始後もなく緑ヶ丘チーム（第三分団第八部）の競技中に、火事だ！との無線連絡が入り、競技待ちしていた自動車がいっせいにサイレンを鳴らし騒然とした雰囲気につつまれました。さいわい、近くの造成団地あき地のススキが少し燃えた程度ですぐ鎮火し、競技は支障なく続行されました。

競技には自動車ポンプに六チーム、小型動力ポンプに十二チームが参加し日ごろの訓練ぶりを競い合いました。その結果、自動車ポンプの部では根古屋チーム、小型動力ポンプでは西谷チームがそれぞれ優勝しました。この二チームは、十月二十八日に潮来町で行われた第三十一回県消防ポンプ操法競技行方地区大会に出場し優秀な成績をおさめました。

ボランティア

児童みずからユニセフ募金

シリーズ⑤

現原小学校

現原小学校（中島安右エ門校長）では、毎年ユニセフ（国際連合児童基金）に募金を行っており、ことしも五月一日から始めた一学期終了までの金額一万四千五百七十九円を日本ユニセフ協会におくり、当協会から感謝状が届けられました。

ユニセフは国際連合のな学校への募金呼びかけにこた



コーラのビンにあつめたお金と代表委員の児童たち

えて、現原小ではこどもたち自らが児童会の代表委員会で募金することを決め、一年生から六年生まで全校児童が協力して行いました。各学年ごとに、コーラの空ビンに、世界のきのどくなお友だちを救う善意の輪をひろげよう！などの文をはり、自分たちのお小遣いのなかから一円玉や十円玉をビンの内に入れ募金したものです。

中島校長先生のお話では「テレビなどで、ピアフラやカンボジアの飢えたこどもたちの様子をみて、児童たちも積極的に募金したようです」とのこと。現原小では今後もずっと続けていきたいと話しています。

自動車ポンプで優勝

「第三十一回茨城県消防ポンプ操法競技大会行方地区大会」が十月二十八日に潮来町日の出グラウンドで行われ、自動車ポンプの部で当町の根古屋チームが見事優勝しました。今回の根古屋チームは、関野孝治、坂本勝幸、荒木田一男、関野洋、金塚嘉嗣、原弘の六選手が出場しました。

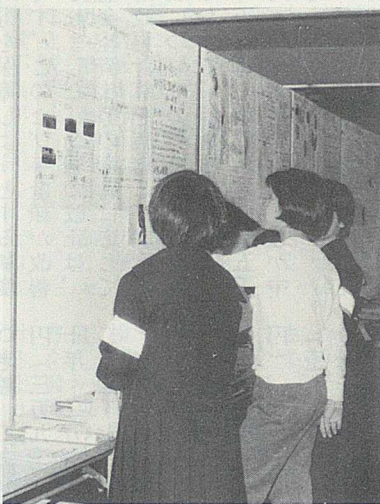
なお、町消防ポンプ操法競技大会の入賞チームは次のとおりです。

▼自動車ポンプの部
優勝 根古屋（第一分団第二部）
二位 上宿・川向（第三分団第三部）
三位 下宿（第三分団第四部）
▼小型動力ポンプの部
優勝 西谷（第一分団第三部）
二位 泉（第三分団第七部）
三位 西蓮寺（第一分団第四部）

努力の成果がずらり

小中学生理科作品展

町内各小中学生の「理科研究作品展・発明くふう展」が十月三・四・五日の三日間中央公民館大ホールで開かれました。



「作品展・発明くふう展」には、小中学生が夏休みの間、理科の教材を参考に観察や実験した作品百二十二

点と、くふうしてこしらえた工作など三十六点が展示されました。理科作品は、小学生では植物の育ち方や昆虫の観察がほとんどで、一方中学生では霞ヶ浦の水質調査、地質調査が目立ちました。また、発明くふう展には「水よけエプロン」「べんりちとり」「上下はぶらし」など、家庭用品を改良したアイデア作品が展示されました。

町民一千人が

スポーツに参加

「第十一回体力づくり町総合球技大会」が、十月十日の体



開会式のようす

町民つり大会行われる

育の日に玉造中学校を主会場に町内各会場で行われました。当日は上天気めぐまれバレーボールやソフトボールなど七種目の球技がくりひろげられ、町民一千人が一日スポーツを楽しみました。

なお、優勝チームおよび優勝者は次のとおりです。

○バレーボール
ママさん 現原小PTA
一般男子 玉造町農協
一般女子 玉造中
○バスケットボール
一般男子 白帆クラブ
一般女子 玉造中B
○ソフトボール
Aブロック 現原小PTA
Bブロック 手賀青年団
○バトミントン

男子シングルス 須貝稔
女子シングルス 樽見欣枝
○卓球
男子シングルス 森作信夫
女子シングルス 原田正江
○軟式庭球
一般男子 中野・茂木組
中学二年男子 飯田・多田組

中学二年女子 山中・小林組
ミックス 宮本・飯島組
中学一年女子 箱根・武井組
ママさん 成島・北沢組

町体育協会主催による「第一回町民つり大会」が、十月五日に、梶無川河口近辺で行われ、約三十名が参加しました。結果はつぎのとおりです。

〈一位〉平間 甲（芹沢）
〈二位〉河野 静二（諸井）
〈三位〉森作 肇（下宿）
○大型賞 平間甲、河野静二
○珍魚賞 森作肇
○特別賞 弓削道明（谷島）



ヤング・レディ

大場 順子さん

(21歳・泉)

県職・玉川小学校事務

ご家族は

「祖父母、両親、兄、私の6人」

趣味は

「ピアノ、そのほか手芸一般（リボンフラワー、編み物、人形作り……）」

ご自分の性格は

「短所は、わがまま、甘ったれ、冷たいコリ性だけどあきっぱい……。長所は……チョットむずかしいですね」

いま一番したいこと

「幼稚園の先生」

好きなことば

「浪漫」

理想の男性

「どことなくのん気だけれど、しっかりしていて暖かい人（現実にはいないような人が理想の人というのでは……）」

結婚は

「たぶん、一回くらいはすると思います」



国民年金だより

年金額が改善されました

年金制度は、加入者が老齢または廃疾となったとき、あるいは死亡したことによって所得能力を失った場合、その所得を保障しようとする制度です。このたび年金額が改善されました。今回の改正は、社会経済状況の変動に応じて財政再計算を実施し、制度全般についての見直しが行われたもので、年金額の引上げ、母子加算の創設（月一万五千円）、保険料の改定などが中心となっています。

今後、長期的展望にたつて国民年金制度をより健全に運営し、充実発展させるためには、給付の改善のほか、保険料の段階的な引上げは、さけられない状況ですので、みなさんご理解をいただきたいと思ひます。

- なお、主な制度改正は次のとおりです。（内は改正前）
- ▼拠出年金
 - 一、年金額の引上げ
 - 老齢 二十五年：四万二千円（三万九千二百二十五円）
 - 十年：二万六千五百五十円（二万四千七百四十二円）
 - 五年：二万四千七百四十二円（二万二千六百六十四円）
 - 障害 一級：五万二千二百五十円（四万九千七百九十二円）
 - 二級：四万一千八百八十円（三万九千八百三十三円）
- 母子・準母子・遺児 四万一千八百八十円（三万九千八百三十三円）
- 母子・準母子・遺児年金の加算額の引上げ
 - 第二子：月額五千元（二千元）
 - 第三子以降：二千元（二百円）

忠魂碑に植樹

遺族会玉川青年部

遺族会玉川支部青年部（関野一郎部長）では、青年部結成二十周年を記念して、十月五日に西谷地区にある忠魂碑の清掃と植樹を行いました。記念樹として植えられたのは、田山造園から寄贈されたヨシノシタレザクラ一本で、このほか梅とつばきの木も植えられました。当青年部では、毎年定期的に土手の草刈りや植木のせん定



をしています。今回の植樹には部員十四人が参加し、今後も忠魂碑の清掃をつづけることを誓いました。

（税の窓）

サラリーマンと年末調整

サラリーマンの給与についての所得税は、その年最後に支払われる給料やボーナスで毎月の給料から源泉徴収され



算手続きを「年末調整」と呼んでいます。年末調整は、サラリーマンにとって確定申告に代る大切な手続きですから、扶養控除等申告書や保険料控除申告書、住宅取得控除申告書などに、必要な事項を正しく記載してかならず勤務先へ早めに提出するようにしてください。くわしいことは税務署におたずねください。

公民館俚謡講座

兼題「秋のうた」

さつまいもさえこの頃めかし 派手なお化粧で店に出る

高い香りの松茸汁に 尚詩
 つと一杯コップ酒 令音
 空の高さと深まる秋が 比
 例している菊日和 青
 山家なりやこそ味覚の秋が 竹堂
 山に畑に庭の木に 誠見
 秋の情に腹割割って 秋扇
 せてるあけびの実 羊我
 高くともった理想のはては 羊我
 鴨の餌となるうれた柿 秋のな
 女心がええは昔 かもめ
 ごりの玉すだれ 虫
 夢も佗しい山家の住い 正花
 に預けた夜が長い 思
 とうに忘れた昔の人を 草女
 い出させる秋桜 兼題折句「かわしま」

自転車は点検整備して乗りましょう

健康的で手軽に乗れる自転車は年々増え、これにともなう自転車の事故も増え続けています。本年上半期に県内で七百三十八名がケガをされ、二十名の方が犠牲になってい



ます。とくに小学生、五十歳以上の方の死亡事故が目立っています。ことし四月には自転車安全整備制度がスタートし、県内に一千五十六の自転車安全整備店が誕生し、自転車安全整備士が自転車を点検整備して整備済のTSマークを有償でつけてくれることになってい

人権法律相談所

を開設

ことしも十二月四日から十日まで人権週間が始まります。わが国の憲法において、国民



当町出身の自衛官 斎藤敏光君 上自衛隊施設学校（勝田）に勤務する陸士長です。入隊は五十二年三月で、みるからに恵まれた体格とたくましい面構えは高校時代からのハンドボールと自衛隊での自己研さんによるものとか。現在も全日本実業団リーグ（二部）で活躍する自衛隊勝田チームの主

の基本的な人権は侵害することのできない永久の権利として保障されており、人権週間は、この基本的な人権をより一層大切にするよう改めて考えてみるための期間です。

そこで、人権週間にかんがみ、人権法律相談所を開設しますのでお気軽におでかけください。



とき、十二月十日午前十一時～午後三時まで
 ○ところ 玉造町中央公民館
 ○相談内容 人権侵犯、酷使虐待、不動産の売買、登記、戸籍、相続、交通事故などの法律問題
 （すべて秘密にあつかい相談は無料です。）

年賀状の差し出し準備を



郵便局から

